

葉月 愛南文芸

菊川俳句会

食細る日々ガラス器の胡瓜もみ
 ひたすらにラケット振りて日焼けの子
 明けまたず出船の音や夏至となり
 久々に我が子と外食梅雨の夜
 笹の葉に願いたくさん飾る老
 打水に喜ぶ子らよ草よ木よ
 ひんやりとかむほど弾む夏トマト

篠南川柳会

「点」
 欠点を補い合って五十年
 一点を見つめて重き足延ばす
 サツカーは一点目差す世界の目
 広報の点訳奉仕で明るい町
 一点を見つめて針に糸通す
 何もかも故障し始め点滅し

100点を取ってたまげて目がさめた
 欠点も利点に変える知恵袋
 点線に添って切るのに何故まがる
 「時」
 時忘れ思いにふける老いた今
 見るだけで旅行気分の時刻表

さわらび短歌会

「男性の起源は女性」と新聞に力カア天下はこりやー仕方ない
 眠れぬ夜満天の星仰ぎみる梅雨止みし夜半に星座瞬く
 草木煮て白のブラウス染めたりき国防色なる暗きその色
 エアホースワンが広島空港に下りて時代がくるりと回る
 年輪を重ねて更に冴えしうた余情をのこし別れゆくなり
 蚊帳の中抱きしめくれし母の胸思い出したる夜半の雷
 木蓮の若葉を濡らす雨の音今朝のオムレツほっこり焼ける
 竹の子が高値に売れると山に入り熊に襲われし人を悲しむ
 夏野菜の追肥済ませてインゲンを摘まんと急ぐにはや雨降り来
 参院議員を選ぶ七月期待する日本を背負う十八歳に

国松 幸枝
 田中 保美
 松本 安子
 谷口千代子
 木本 清子

澤近 正弘
 水野美代子
 岩村千代子
 藤井 擴
 前田 知子
 河上 明美
 前田 充
 扇野八代生
 松本マス子
 前田 昭夫

はじめまして。赤ちゃん。

6月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

6月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。